

資料2

1. 検討報告書概要

- 現状分析
 - 旧館 昭和29年(1954年)建設
 - 新館 昭和46年(1971年)建設 $I_s=0.21$ (0.3以下 倒壊の危険)
 - 別館 昭和57年(1982年)建設 新耐震
 - 第2別館 平成6年(1994年)建設 新耐震 賃借
- 機能の整理
 - 市民に親しまれる庁舎・人にやさしい庁舎
 - ・ シンボル、窓口、交流、事務遂行、景観・緑化、バリアフリー、セキュリティ
 - 災害に強いまちづくりの核としての庁舎
 - ・ 防災、災害支援拠点
 - 環境に優しい庁舎
 - ・ 環境への配慮
- 規模
 - 延床面積 約25,000㎡
 - 敷地面積 約12,000~16,000㎡
 - 駐車台数 364台(公用車114・来庁者110・職員110)
- 建設候補地
 - 第1候補地 福祉センター敷地 約18,000㎡
 - 第2候補地 防災広場 約11,000㎡
 - 第3候補地 現在位置 約12,000㎡
- 建設手法
 - 耐震補強、民間物件への入居、リース、PFI等への長短所の比較検討
- 建設費用の試算 93億円
 - 新築費 360,000円/㎡(消防庁舎参考) × 25,000㎡ = 90億円
 - 解体費 15,000円/㎡ × 15,267.43㎡ ÷ 2.3億円
 - 駐車場等敷地整備 10,000円/㎡(舗装費) × 10,000㎡ = 1億円
- その他の費用
 - 引っ越し費用 2,268万円
 - LAN等移設 800万円
 - 仮設庁舎 約6億7千万円
 - 土地取得費 ?
 - 什器備品 約7,800万円
- 財源確保
 - 基金
 - 交付金・補助金